

スクール・ミッション、教育目標、スクール・ポリシー

1 スクール・ミッション

「国際社会ですこやかにたくましく生き抜く力」「個性や特性を大きく伸ばす豊かな創造力」「社会に貢献できる能力・態度」の育成を教育目標とし、三年間で卒業可能な三修制、スクールカウンセラー、メンタルフレンドシップアドバイザーを活用した生徒へのきめ細かい指導、外国人児童生徒等への日本語教育の充実、といった特色ある教育活動を通じて、互いの人格を尊重できる豊かな人間性をもった生徒を育成します。

2 教育目標

(1) 国際社会ですこやかにたくましく生き抜く基礎・基本を培う。

(2) 個性や特性を大きく伸ばし豊かな創造力を養うとともに、支援が必要な生徒への自立活動を応援する体制を推進する。

(3) 社会に貢献できる能力・態度を育てる。

3 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

① 人権を尊重し、温かい思いやりの心を持ち、社会の中で明るく生き抜く力の育成を推進する。

② 生活指導において、挨拶の励行、自己管理能力、規範意識など社会の一員としての基本的な態度の育成を推進する。

(2) カリキュラム・ポリシー

① 学習指導において、単位制の趣旨を生かし、自ら学ぶ喜びを得られるよう基礎・基本を重視し、魅力ある授業を展開する。

② 心の面でのサポート体制の確立と、外国人生徒等への日本語教育を充実させ、コミュニケーション力を高めるため、ホームルーム活動や学校行事の工夫を行う。

(3) アドミッション・ポリシー

① 学習の基礎基本や、社会的な規則やマナーを身に付け、行動に責任を持ち他人を尊重し意欲的に学校生活を送ろうとする生徒。

② 学びの大切さ、働くことの大切さを理解し、明確な進路希望を持って実現しようとする生徒。

中期目標と方策

知・徳・体のバランスのとれた 21 世紀に必要なスキル「生きる力」を身に付けさせる。基礎的・基本的な学力の確実な定着と、進路実現に向けた学力の向上を図り、主体的に学習に取り組む態度を育てる。生徒が安心・安全に学べ、充実した学校生活を送ることができる魅力的な学校づくりに全力で取り組む。

中期目標と方策	今年度の取組目標と方策	今年度の重点目標と方策	数値目標(昨年度実績)
1【学習指導】基礎的・基本的な学力の定着、主体的な活動の醸成を図り、進路実現に向けた学力の向上を目指す。単位制の特長を活かし、個に応じた履修指導を行い、3 年間での卒業率を高める。	①基礎的・基本的な学力の定着へわかりやすい授業を工夫する。 ②日本語指導を充実させる。	○基礎的・基本的な学力の定着 ○進路実現に向けた学力向上 ○年間授業時間の確保とわかる授業の実践 ○日本語指導の充実	○3 年間での卒業率 80%以上 (76.9%) ○学校の取組への満足 90% 以上 (99.7%) ○
2【進路指導】1 年次からのキャリア教育を全校体制で行い、自己の生き方を考えさせ、勤労観・職業観を育成し、将来設計を考えさせる。	①計画的な進路指導により、自己理解を進めさせる。 ②生徒の志望、適正にあった進路の開拓、特に外国籍生徒の進路開拓を図る。 ③進路行事を通して勤労観、職業観を育成する。	○進路部、学年、教科が連携し、個々の生徒の状況を把握し丁寧な進路指導を充実させる ○外国籍生徒の進路について、将来設計に基づいた進路指導を行う。	○検定合格者 18 名以上 (18 名[英検 6 名 JLPT12 名]) ○進路行事の充実 (全日制と連携した講演会) ○個別相談の充実 (担任及び管理職との面談) ○進路決定率 65% 以上 (70.0%) ↑

3 【生活指導】 ルール・マナーを遵守する指導を充実し、自己指導能力を育成する。健康的で安全な学校生活への指導の充実。国際化する社会での生きる力を培う。	①社会生活の基本的なルールを守らせ、規範意識を向上させる。 ②いじめの未然防止や自殺防止につながる生徒一人ひとりへのきめ細かい指導 ③教員の情報共有による個々の生徒への丁寧な指導 ④外国につながる生徒との交流を通して国際理解を深める	○全校体制で、ルールやマナーなど社会で生きるための規範意識を育てる。 ○生徒とのコミュニケーションをとり生徒理解を深め、個々の状況に応じた生徒指導を心がける。 ○SDGs や大使館等による講演会等の実施	○充実した学校生活 95%以上 (97.5%) ↑ ○SDGs など外部機関と連携した講演 3 件以上
4 【特別活動・部活動】 ホームルーム、生徒会、学校行事、部活動を通して、集団の一員としての自覚や行動力、社会貢献への自主的な態度を身に付けさせる。活動を通して成就感や自己肯定感を高め、生徒の可能性の伸長を図る。	①HR活動、学校行事への主体的な参加を指導する。 ②学校行事、部活動により、集団の一員としての意識をもたせ、自己の役割を認識させる。 ③集団での活動を通じ他者と協調し、協力する精神を培う。	○ホームルーム活動、学校行事、部活動に積極的に参加させ、学校への帰属意識を高める。 ○様々な活動を通して達成感、成就感が得られるよう指導する。	○学校行事が工夫されている 90%以上 (95.9%) ↑ ○学校行事・部活動への満足度 90%以上 95.9% ↓
5 【健康・安全】 心身ともに生徒の健康保持に努め、安全で快適な学校生活が送れるよう環境の整備に努める。生徒一人ひとりの状況を把握し、個別の指導や相談を組織的に行う。生命尊重、自他を大切にする指導の徹底を図る。	①学校安全計画の策定、防災や安全に関する指導を学校・家庭・地域と連携して実施 ②カウンセラーと連携し教育相談体制を強化 ③TOKYO ACTIVE PLAN for students を参考として健康づくり、体力づくりの指導を実施 ④生徒の健康、発達の把握、特別支援教育、食育の推進	○防災、健康、安全、個人情報保護など、学校危機管理や安全管理について、全教職員で取り組む。	○悩みをよく聞いてくれる 90%以上 (99.1%) ○健康面でのアドバイスがある 90%以上 (96.6%) ○いじめ体罰ゼロ (0 件) ○給食の喫食率 90%以上 (85.8%) ↓
6 【広報活動】 定時制普通科単位制や、日本語教育等の本校の特長を積極的に発信し、地域や外部機関と連携し開かれた学校づくりを推進する。	①三修制で多様な科目選択ができる本校の特色を積極的にPRする。 ②引き続きホームページの充実を図る。 ③中学校等への情報提供を積極的に行う。	○学校説明会で本校の特色についてわかりやすい説明。 ○中学校訪問など、中学校、特に夜間中学校と連携する。 ○ホームページの更新を行い、地域・中学生等へ情報発信する。	○学校説明会等参加者数 50 名 (28 名) ○HP の更新回数 100 回以上 (155 回)
7 【学校経営・組織体制】 教育公務員としての高い使命感・倫理観を持ち、服務規程を遵守する。協働意識を持ち、ライフ・ワーク・バランスを図る。	①服務規律の徹底 ②個人情報の管理 ③情報の共有化と会議の効率化	○組織的な学校運営を推進し、諸課題の解決を図る。 ○現在の業務遂行について検証し、効果的・効率的な業務を目指す。 ○学校事故、服務事故ゼロを継続する。	○服務事故防止研修の実施 3 回 (3 回) ○服務事故ゼロ (1 件) ○会議議事録による情報共有

教科	8 教育改革、入試制度改革の動向を見据えた、指導体制・指導方法・指導内容を研究し、教科としての一層の指導の充実を図る。生徒が主体的な学びを行う場面を授業に取り入れる。	①スクール・ポリシーを踏まえた指導、評価を工夫し学力向上を図る。 ②個別指導を充実させ、主体的学習を推進する。 ③東京都教育ビジョン等に基づきデジタル技術を活用した教育活動を推進する。 ④教科会により授業改善、授業力向上に努める。	○スクール・ポリシーの達成に向けた、目標水準の設定。 ○教科会を活用した教科での協力した指導体制 ○新指導要領に基づいた主体的な学びの導入 ○Teams 等を活用した教科指導を進める。○わかる授業の実践と個々の生徒への丁寧な指導	○「授業が工夫されている」の生徒肯定的評価 90%以上 (98.3%) ↑○
学年	9 進路部や生徒部と連携し、主体的に行動する生徒の育成を図る。時間や規律と節度の育成を目指し、基本的な生活習慣を確立できるよう指導する。コミュニケーションや人間的なふれあいを大切に、人権尊重の教育を推進する。	①面談等により生徒個々の状況を把握し、家庭と連携した指導を図る。 ②HR活動を通して、主体的な姿勢を培う。 ③進路部と連携し将来設計を考えさせる。	○家庭と連携した生徒指導、進路指導の充実 ○個々の生徒とコミュニケーションをとり、生徒理解を深めた指導を心がける。 ○規範意識を育て、授業に積極的に取り組む姿勢を育てる。 ○進路部と連携し将来設計を見据えた進路指導	○各学年の進級率 85%以上 (100.0%) ↑ ○中退者数 5 名以下 (2 名) ↑ ○一日あたりの遅刻者数 5 名以下 (9.5 名) ↓
部活動	10 部活動の活性化を図り、生徒の能力・意欲・感受性を伸長させ、集団の一員としての意識を高めさせる。活動の中で成就感や自己肯定感を持たせる指導を行う。	①部活動の参加を推進し、活動内容の充実を図る。 ②大会参加、発表に参加させ、成就感、自己肯定感を得られるよう指導する。	○部活動加入率の向上 ○外部大会への参加、外部大会、文化祭での発表の充実	○部活動加入率 70% (78.0%) ○都大会以上の公式戦、大会出場 5 件以上 (10 件)
教務部	11 単位制の特長を活かした教育活動の環境整備を進め、新教育課程編成に向け、組織的・計画的に質の向上を図るカリキュラムマネジメントを推進する。	①新指導要領に基づいた新しい教育課程の編成 ②成績処理システムを活用した成績の適切な処理 ③入選業務の適切な遂行 ④外国籍生徒の学習環境の整備 ⑤明海大学と連携した日本語指導	○新教育課程の完成 ○成績処理システムの管理運用 ○日本語教育等、外国籍生徒の学習環境の整備 ○明海大学と連携した日本語指導	○入学者選抜業務事故ゼロ○
生徒部	12 社会生活における基本的なルールを守らせ、規範意識の向上を家庭や職場と協力し進める。学校行事や部活動への積極的な参加を促し、集団や社会の一員としての意識や自己肯定感を高める。特別支援教育の推進と生命尊重、自他を大切にする指導の徹底を図る。	①未然防止や予防的指導、メンタルケアを徹底し、生徒に寄り添う指導を行うことで安全安心な学校生活を構築する。 ②地域からの声に迅速に対応、信頼される学校づくりをめざす。 ③校内外の巡回を通して、生徒の問題行動の防止に努める。	○規範意識を高める指導 ○行事等を充実させ、帰属意識を高め、達成感を得られるよう指導する。 ○事故や問題行動等の未然防止、予防的指導を進める。 ○SOS の出し方についての講話を実施するとともに教職員が確実に生徒の SOS を受けとめる体制を構築する。 ○外部人材を活用して MF (メンタルフレンドシップ) 活動を継続実施する。	○特別指導件数 0 件 (1 件) × ○特別支援教育に関する委員会 20 回 (12 回)

進路部	13 進路情報や進路資料を整理し、教員間での共通理解が図れるよう積極的な情報提供を行う。1年次からの継続的・計画的なキャリア教育を充実させる。	①総合的な学習の時間にキャリア教育を行う。 ②進路講話や講演会等の進路行事を充実させる。 ③個々の生徒の実態に応じた適切な進路指導ができるよう体制を強化する。	○学年と連携し、生徒の個々の状況に応じた進路指導を行う。 ○総合的な学習の時間やホームルームを活用したキャリア教育 ○外国籍生徒の個々の状況に応じた進路指導	○日本国内での進路希望者の進路決定率 70%以上 (60.0%) ↓ ○大学現役合格者数 5 名 (2名)
経営企画室	14 計画的な予算執行を心がけ、校内関係部署と連携し円滑な教育活動を支援する。	①管理職、関係教員と連携をとり、円滑な業務を実施し、業務の省力化を心掛ける。 ②複数対応、連絡、相談、報告を行い、服務事故防止を目指す。 ③丁寧で温かい窓口対応	○施設の老朽化への対応 ○計画的で効率的な予算執行 ○関係部署との緊密な連携	○一般需用費のセンター執行割合 60%以上 (44.9%)